

平成 30 年度青少年の健全育成に関する意識調査結果（抜粋）

1 青少年の健全育成に関する意識調査の概要

(1) 調査対象

岩手県内に居住する少年（男女）500 人

（中学生・義務教育学校後期課程（小中一貫校の 7～9 年生）の生徒・高校生）

上記少年の保護者 500 人

満 20 歳から 39 歳の青年（男女） 1,500 人

(2) 調査時期

平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月（前回：平成 27 年 5 月実施）

(3) 回収状況

少年 484 人（回収率 96.8%）、保護者 479 人（95.8%）、青年 366 人（24.4%）

2 意識調査結果概要

(1) 親子関係 ※概要版 1・2 ページ

・少年は父親、母親ともよく話をしており、前回調査より親子の相互理解が深まっている。

父親と少年の会話「よく話す」（今回調査：47.3%、前回調査：38.0%）

母親と少年の会話「よく話す」（今回調査：75.0%、前回調査：68.1%）

父親は自分をわかっている（今回調査：76.6%、前回調査：73.2%）

母親は自分をわかっている（今回調査：81.0%、前回調査：78.1%）

(2) 将来の夢 ※概要版 4 ページ

・少年、青年ともに「好きなことをしてのんびり暮らす」が最多回答。一方、保護者が少年に対する夢で「好きなことをしてのんびり暮らす」と回答した割合は 8.1%。

少年 今回調査：45.0%、前回調査：37.5%

青年 今回調査：58.7%、前回調査：56.8%

保護者 今回調査：8.1%、前回調査：5.8%

※前回の最多回答は、

少年 「自分の個性や能力を生かす」 47.7%

青年 「好きなことをしてのんびり暮らす」 56.8%

保護者 「自分の個性や能力を生かす」 72.6%

(3) 将来つきたい（少年につかせたい）職業 ※概要版 5 ページ

- ・少年、保護者ともに「自分（少年）の適性にあっている仕事」が最多であり、「お金が儲かる仕事」と回答した割合は、少年と保護者で回答の差が大きい。

自分の適性に合っている仕事

少年 今回調査：67.8%、前回調査：68.6%

保護者 今回調査：83.5%、前回調査：84.6%

お金の儲かる仕事

少年 今回調査：34.7%、前回調査：29.9%

保護者 今回調査：7.1%、前回調査：5.6%

（４）地域への愛着 ※概要版６ページ

- ・少年、青年、保護者ともに住んでいる地域が「好き（どちらかといえば含む）」と回答している割合が８割を超えている。

少年 今回調査：89.4%、前回調査：89.8%

青年 今回調査：86.1%、前回調査：84.9%

保護者 今回調査：80.6%、前回調査：85.5%

（５）青少年の日常生活 ※概要版８・９ページ

- ・コミュニケーションの手段は少年が「会って話す」（61.6%）、青年が「SNS」（69.9%）が最多。
少年 会って話す：61.6%、SNS：27.1%
青年 会って話す：13.4%、SNS：69.9%
- ・インターネット利用時間は「１時間くらい」から「３時間くらい」が多い。
- ・少年は２時間以上のインターネット利用が増えてきている。

（６）青少年の健全育成 ※概要版１１・１２ページ

- ・保護者が考える非行防止策は、家族のふれあいや大人自身の行動、地域社会の関心など。
- ・少年、青年、保護者ともに青少年に必要なものとして、「青少年が気軽に立ち寄れる施設や場所」が最多。
少年 今回調査：73.1%、前回調査：67.4%
青年 今回調査：61.2%、前回調査：53.8%
保護者 今回調査：58.5%、前回調査：48.6%
- ・次いで、「青少年の悩みなどを気軽に相談できるところ」が多い。
少年 今回調査：47.9%、前回調査：48.5%
青年 今回調査：55.7%、前回調査：54.4%
保護者 今回調査：49.7%、前回調査：49.9%